

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月30日

計画の名称	4 奈良県におけるバイパス河川の整備による抜本的な治水対策（防災・安全）抜本的治水対策												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	奈良県												
計画の目標	・県東部に位置する町並川は、河積狭小で流下能力が劣っており、過去より浸水被害が頻発しているものの、河川沿いには良好な近世末頃の歴史的な町並みが形成されていることから、河道拡幅による河川改修は大変困難な状況にあるため、併走する国道下に新たにバイパス水路の整備を行うことで、抜本的な治水安全度の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,300	A	1,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	・町並川では平成30年度までにバイパス水路の整備を実施する。 バイパス水路の整備延長（町並川）	0整備延長(m)	0整備延長(m)	740整備延長(m)

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	奈良県	直接	奈良県	広域系	—	木津川圏域総合流域防災 事業	町並川	宇陀市	■	■	■	■	■	1,300		—	
												小計						1,300		
												合計						1,300		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

奈良県県土マネジメント部で評価

事後評価の実施時期

令和3年3月

公表の方法

奈良県ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・バイパス水路事業の効果は発現していないものの、立坑工事等、事業は進捗している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・引き続き、バイパス水路の整備を推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	バイパス水路の整備延長（町並川）	
	最終目標値	740整備延長(m) 岩盤が当初の想定より硬く事業の進捗が遅れたため、目標としていた整備完了には至らなかった。
	最終実績値	0整備延長(m)